

「補償的バランス反応における頭部制御能の加齢変化と脊柱形態・可動域との関連性」の研究に被験者としてご参加いただいた皆さまへ

城西国際大学福祉総合学部理学療法学科 教授 竹内弥彦
(実験実施時：千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻 准教授)

2018年7-8月に千葉県立保健医療大学仁戸名キャンパスにて実施した、日本学術振興会科学研究費助成事業「補償的バランス反応における頭部制御能の加齢変化と脊柱形態・可動域との関連性」(研究番号17K07594)の研究にて、被験者としてご協力いただいた皆様から外乱負荷時に転倒を防止するためのステッピング反応を計測させていただきました。

このたび、以下の理由により、実験計測時に収集させていただいたデータを利用する期間を延長させていただきたく、説明時との変更点についてご承諾をいただけますようお願いいたします。なお、研究のためにご自身のデータが使用されることを望まれない方は、4. 拒否時の連絡先に記載の研究担当者までお知らせください。

1. 変更点 (データ保存・利用期間の延長)

研究へのご参加時に口頭および書面にて説明し承諾をいただいた計測データの保存利用期間を、当初の保存利用期限であった2023年9月30日から5年間延長し、2028年9月30日までデータを保存し解析します。

なお、個人を特定できる情報は削除済みであり、動作計測・解析ソフトウェアで加工済みのデータのみを利用します。

2. 変更の理由

上記研究にて解析対象とするデータは、赤外線カメラによる三次元的な運動学的データに加えて、床反力計を同期して得られる運動力学データも含まれるため、データ量が膨大となります。さらに、人体は頭頸部から足関節まで多くの関節で構成されているため、それらの各関節に発生する回転力と脊柱機能との関連性を解析することに多大な時間を要したため、当初予定していたデータ収集終了日から5年間では全ての解析を終えることが困難でした。加えて、現所属先である城西国際大学に既設の筋骨格モデル動作解析ソフトウェアによる解析を加えることで、関節が発揮する回転力だけでなくその力源となる筋張力や筋活性度を合わせた解析が可能となります。データ利用期間の延長を認めていただくことで、皆様から収集させていただいた貴重な運動学・運動力学データのより詳細な解析が可能となり、高齢者の転倒を防ぐためのバランス反応のメカニズム解明に繋がると考えております。

3. データの管理方法

データは現在、研究者の現所属先である城西国際大学東金キャンパス内にある担当研究者の個人研究室にて施錠可能なロッカー内のポータブルハードディスクに保管しています。今後は基本的には千葉県立保健医療大学仁戸名キャンパス内でデータの保管をいたしますが、データの解析は担当研究者の所属先である城西国際大学東金キャンパスで実施する必要があるため、解析が必要な複製データを担当研究者の所属先である城西国際大学東金キャンパス内の個人研究室にて保管し厳重に管理します。

4. 拒否時の連絡先

担当研究者氏名： 城西国際大学福祉総合学部理学療法学科
教授 竹内弥彦

連絡先 ： 〒283-8555 千葉県東金市求名1番地
城西国際大学東金キャンパス A棟5階501研究室
TEL： 0475-53-2221（研究室直通）
E-mail： ytakeuchi@jiu.ac.jp

本研究について、わからないことや聞きたいこと、なにかご心配なことがありましたら、お気軽に上記の連絡先までお問い合わせください。